

提言整理表

資料－２

	発言要旨	発言者	提言
提言 1 成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成について	航空機関連企業が県内に分散していて非効率であると感じる。地域で情報を共有し、切磋琢磨できるような環境の整備が必要ではないか。	喜藤部会長	1－1
	秋田県から各分野で特化した技術発信をしていく視点も必要ではないか。	阿部委員	1－1
	風力発電促進に当たっては、発電量を上げることも大切だが、地元企業が経済効果を得られるよう、参入促進に向けた取組を強化する必要がある。	喜藤部会長	1－1
	医療福祉機器の販売に当たっては、秋田県に経済効果が及ぶことが大切である。県外への販売ルートの確立等に向けた取組を進めるべきである。	眞田委員	1－1
提言 2 イノベーションの推進による産業振興について	IOT・AI・ICTについて、県として先進的な事例を知っておく必要がある。そのための視察等にも積極的に取り組むべきではないか。	眞田委員	2－1
	県職員を企業へ積極的に出向させるなど、視野を広げるための取組を進めることが大切である。	眞田委員	2－1
	インバウンド客が秋田県に来て不便だと感じないように、他の地域の事例を参考にしながらキャッシュレス化等の支援を進めていただきたい。	喜藤部会長	2－1
	特に小規模企業者では、ICTの導入について2極化している。導入に対する補助金と導入後のレッスン等をセットにしたような取組を進めていただきたい。	阿部委員	2－1
	ICT人材の確保・育成について、学校教育の段階から取り組む必要があるのではないか。	沓澤委員	2－2
	県内でもIOT・AI・ICTの専門学校を設置する等の取組があってもいいのではないか。	沓澤委員	2－2
	情報関連の国家資格を取得している中高生を把握し、アプローチを行えば県外流出を防げるのではないか。	阿部委員	2－2
AIやロボット等の先進的な技術について、人材を集められるような求心力のある先生を県内に呼び込む取組を進めていただきたい。	喜藤部会長	2－2	
提言 3 中小企業・小規模企業者の活性化と生産性向上について	上場企業を創出し、モデルケースとする取組を行ってみてはどうか。	眞田委員	3－1
	伝統工芸品や食品について、秋田県の販売力の弱さが見える。直接販売が少なくなっている現状を逆手にとったビジネスプランを考えてみてはどうか。	喜藤部会長	3－1
	開業率が低く、廃業率が高い本県において、起業や開業に向けた大胆な取組を行うべきである。	喜藤部会長	3－2
	起業を支援する側のスキルアップや横のつながりが必要である。	阿部委員	3－2

	発言要旨	発言者	提言
提言 4 国内外の成長市場の取り込みと投資の促進について	東アジア・東南アジアの次にグローバル化が進んでいく地域を秋田県の視点から精査しておく必要がある。	阿部委員	4-1
	県内に熱処理を行える会社が少ないことから、積極的に誘致活動を行ってはどうか。	沓澤委員	4-3
	企業誘致について、製造業だけではなく、ショービジネスなど幅広い業種を対象としていくべきではないか。	眞田委員	4-3
	中国の「輸入廃棄物管理目録」の改訂をビジネスチャンスと捉え、チャレンジをしていただきたい。	喜藤部会長	4-3
提言 5 産業人材の確保・育成と働きやすい環境の整備について	女性の新規就業支援については、誰でもすぐに作業に従事できるような作業工程の標準化を進め短時間勤務でも就業しやすくするなど、現場の作業工程の改善支援に取り組むことが大切である。	沓澤委員	5-1
	多様な人材の確保に当たっては、障害者のサポートも重要である。	阿部委員	5-1
	外国人材と地域住民の交流のための支援に取り組む必要がある。	沓澤委員	5-1
	外国人雇用サポートデスクについて敷居が高いと感じる企業者もいるのではないか。誰でも活用できることを周知していくことが大切である。	阿部委員	5-1
	進路選択において子供への影響が大きい大人への働きかけを行う取組を強化すべきである。	沓澤委員	5-2
	大学のオープンキャンパスのように、企業もオープンにして子供から大人まで情報を提供していくことが大切である。	喜藤部会長	5-2
	奨学金返還助成制度など、適切なサポートがあることの周知と、企業側からのPRをさらに活発に行うべきである。	眞田委員	5-2
	施策の方向性や必要性をもっと明確に県民にアピールする取組を行うべきである。	阿部委員	5-2
	有効求人倍率が高水準で推移している中、完全失業率が低下していない要因の分析を行い、更に県内の現状把握をすることが大切である。	眞田委員	5-2
県外に流出した、高校生や大学生の男女比・就職先・専攻分野等を分析する必要がある。	眞田委員	5-2	